歴史・ロマンコース

歴史を伝える史跡や寺社をめぐり、ロマンを感じたい!

歩いて、未病を改善! 神奈川県・県西地域ウォーキング 真鶴町 No.61

「#県西ウォーキング」でSNSに写真や感想をアップしよう♪

アクセス

スタート JR東海道線「真鶴駅」

ゴール JR東海道線「真鶴駅」

※コース詳細は真鶴町及び真鶴町観光協会のホームページをご参照ください。

※真鶴町▶　※真鶴町観光協会▶

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
6.2km	1時間44分	306kcal

高低差	歩　数
58.6m	8,081歩

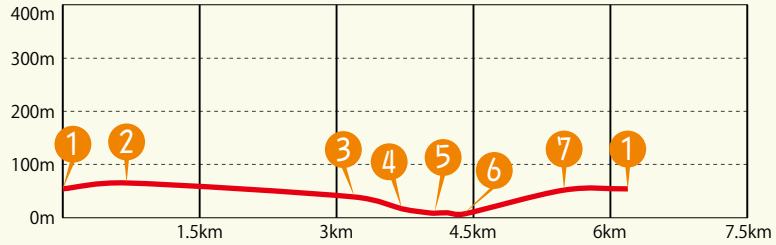
コースの魅力

【景観】段々畑のみかん園と海

【★選】相模湾のアジ(かながわの名産100選)、岩大橋(かながわの橋100選)

1 真鶴駅 ▶ 10分 ▶ 2 (黒田長政供養の碑)西念寺 ▶ 45分 ▶ 3 兒子神社 ▶ 10分 ▶ 4 (五層塔と頌徳碑・宝篋印塔)瀧門寺 ▶ 7分 ▶ 5 お天王さん ▶ 2分 ▶ 6 源頼朝船出の浜(岩海岸) ▶ 20分 ▶ 7 石工先祖の碑 ▶ 10分 ▶ 1 真鶴駅

標高グラフ



コースの概要

真鶴駅から山側に向かい、石材業の歴史に触れます。真鶴町は鎌倉時代から続く銘石「本小松石」の産地。「石工先祖の碑」や「如来寺跡」などからもその長い歴史が伺えます。途中、「源頼朝船出の浜」を眺めつつ、海だけではない真鶴の魅力にふれながら駅までの道をのんびり歩きます。段々畑、みかん林や鎮守の森といった懐かしい里山の風景とレトロな街並がマッチした散歩路です。

真鶴の石材のルーツにふれる

黒田長政供養の碑

黒田長政より江戸城の用石発掘の命を受けた小河織部正良は、岩小松山に良質の石材を発見し、石丁場を開きました。黒田長政13回忌にあたり、小河織部正良が供養の石塔を建てたといわれています。

たたえられた功績をしのぶ

五層塔と頌徳碑

瀧門寺の山門に向かって右手にある五層塔は、塔身が一つの石で作られており、江戸時代初期の彫刻水準の高さを示しています。その右手にある頌徳碑は宮石工の功績をたたえたもので、共に当時の石材業や石材技術を現代に伝える貴重な石碑です。

※歩行距離と歩行時間は、真鶴町のデータを参照。　※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性:身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。　※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和7年2月現在のものです。

歴史・ロマンコース

真鶴は海だけじゃない！史跡めぐりが似合う町・岩地区

石工先祖の碑

平安時代に石材業を始めた土屋格衛や江戸城を築くための採石に当たった黒田長政支配下の業績をたたえ、江戸時代末期に再建されたものです。

源頼朝船出の浜

石橋山の戦いに敗れた頼朝が治承4年（1180年）8月28日、房州に船出した浜と伝えられています。

発行：神奈川県県西地域県政総合センター商工観光課
令和７年３月発行　電話(0465)32-8908